

環境・人・社会に「やさしい商品」の選択事例

選択事例① 地産地消

消費者と生産者がつながる『いいともあいち運動』

愛知県では、地域で生産された農林水産物を地域で消費する「地産地消」の取組として『いいともあいち運動』を展開しています。

『いいともあいち運動』は、県内の生産者が安全で新鮮な農林水産物を提供し、消費者が積極的に購入し、両者が交流を深める取組です。消費者はその取組によって健康で豊かな暮らしを得ることができます。

あなたも『いいともあいち運動』に参加しませんか。



「あいちの農林水産フェア」開催

県内の農林水産物や加工品が勢ぞろいします。

県産品を味わうチャンス!

- ・11月14日(木)～19日(火)
- ・丸栄 8階 大催事場

① 県内の生産者と消費者が今まで以上にいい友関係になる

② Eat more Aichi products
(イート モア アイチ プロダクツ)

ボクを貼った商品をお店で見つけてね!



いいともあいちシンボルマーク

「いいともあいちサポーター」募集

『いいともあいち運動』の趣旨に賛同するあなたの登録をお待ちしています。

メルマガ、WEBで地産地消イベントや県産品情報を配信します。

▶ 『いいともあいち運動』の情報や「いいともあいちサポーター」の登録はこちらから
【いいともあいち応援ホームページ】 <http://iitomoaichi.jp>

(農林水産部食育推進課)

選択事例② フェアトレード

発展途上国を原産地とする輸入品の中には、児童労働などの不当な労働によって、低価格で市場に売られているものがあります。

一方そのような商品に比べると、値段は高くても、生産者や環境に配慮し、正しい対価を支払って取引された「フェアトレード商品」もあります。

※フェアトレード(Fair Trade)とは?...

発展途上国の生産品を、現地生産者の生活支援や環境保護などにも配慮しながら、適正な価格で継続的に取引するしくみ。



このような商品やそのしくみを理解し、
環境・人・社会への影響について考えることが、
『消費者市民』には求められます。